

(令和元年7月試験研究業務月報)

試験研究課題：ICTを活用した豆類栽培における省力生産技術の確立（平成31年度 プロジェクト研究）

研 究

ほ場単位での生育予測システムの確立に向けて

京都府オリジナルのエダマメ『京 夏ずきん』・『紫ずきん』の生産の中核を担っている、数 ha 以上の栽培面積を持つ大規模生産者では、各ほ場の生育を予測し、適期に収穫することが難しく、一部を収穫放棄や下級品で出荷するなど、品質や収量低下が問題となっています。そのため、計画的に適期作業を行うためのきめ細かな気温情報の要望が高まっています。

ほ場単位レベルでの気温情報については、（国研）農研機構西日本農業研究センターが、東西南北の 50m 四方単位で気温情報が推定できる「50m メッシュ気温図」※の作成方法を開発しています。

農林センターでは、西日本農業研究センターと協力して、府内の豆類生産地域の 20 カ所に温度計を設置し、定期的なデータの回収を行っています。約 1 年間のデータ収集の後、50m メッシュ気温図の作成を行う予定です。

※50m メッシュ気温図：緯度経度に沿って 50m 四方単位での網の目（メッシュ）をかけて位置を表し、その網の目ごとの気温情報を推定した地図。50m 四方単位であることから、作付ほ場の大きさに近い範囲の温度推定が期待できる。



温度計のデータ回収（7月9日撮影）

農 林 セ ン タ ー